



# 新年特集 生きてるって当たり前? ～電池が切れるまで～

あけましておめでとうございます。さあ、2022年が始まりました。今年こそはコロナ感染が落ち着き、皆さんがやりたいことを思いっきりでき、生きてるってすばらしいと心底思える年になることを心から願っています。

そのためにも、新年早々重い話題になりますが、改めて「命」について考えてみたいと思います。最近、「命」が軽く扱われているとしか思えない事件が頻繁に報道されます。あたかもゲーム感覚で命はリセットできると思っているかのよう。せめて、本校の生徒だけでも、「生きてることって当たり前のことではない」、「『大切な命(電池)』があるから生きていられる。だから一生懸命生きなくては」と感じて欲しいものです。

左下の詩は、神経芽細胞腫(しんけいがいぼうしゅ)というガンにかかり、長い闘病生活の末、小学4校生、11歳という短い生涯を終えた、宮越由貴奈さんが書いた、「電池が切れるまで」という詩集に収録されている「命」と題する詩です。由貴奈さんの電池は、この詩を書いた4か月後に切れてしまいました。人は生まれた時から、命という電池を使っています。電池の容量は人によって違います。多くの人は80年以上の容量のある電池をもって生きることになります。でも、由貴奈さんは、そんなに生きることが叶わない運命の子でした。

最近、いじめ等により、自ら命を絶つ事例が後を絶ちません。いじめがどれくらい電池を消耗させるか想像ができません。でも、いじめ等によって、他人がその人の電池の寿命を勝手に短くすることは絶対許されないことは確かです。また、寿命の残っている電池を、自ら切ることもあってはならないことです。由貴奈さんのように、生きてくても生きられない子どもにとって、「いらない命なら私にください」といった心の叫び声が聞こえてきそうです。さらに、命が失われたとき、自分の周りの多くの人が悲しんだり絶望したりすることを想像してみてください。命は何物にも代えがたい、唯一無二のものであることを、もう一度確認しましょう。富島中学校の皆さんには、電池が切れるその瞬間までしっかり使い、人生を全うしてほしいと願っています。いじめによってつらい思いをする人や、人が困るのを見て喜ぶような人が一人もいない学校をつくっていきましょう。(妙高市立新井中学校学校だより No.245 より引用、一部改変)

△命  
宮越 由貴奈 作 小四

命はとて大切な  
人間が生きたるための電池おせいだ  
でも電池はいつか切れる  
命もいつかはなくなる  
電池はすぐにはなくなる  
らわゆるけい  
命はそう簡単にはとり  
かえらぬ  
何年も何年も  
月日かたてやと  
神様から与えられる  
ものぞ  
△命がないと人間は生  
きられない  
でも  
「命なんかいらない」  
と云って  
命をむだにする人も  
まだたくさん命がつぎえる  
の  
そんな人を見ると非心しくなる  
命は休むことなく働いているのに  
だから私は命が疲れたと云うま  
せいのっぱい生きよう



出典：角川書店

## 特集2 「校内駅伝・マラソン大会」

12/23(木)、風もない絶好の天気の下、大王谷運動公園を会場に「校内駅伝・マラソン大会」を実施しました。多くの学校で、このような「キツイ行事」を無くしている中、本校では「これからの時代を生き抜くためのたくましい力」を身に付けるために残しています。

### ◆「駅伝の部」の結果

- 【総合の部】 1位 1-5 2位 1-1 3位 2-1  
【学年の部】 <1年> 1位 1-5 2位 1-1 3位 1-2  
<2年> 1位 2-1 2位 2-2 3位 2-4  
<3年> 1位 3-4 2位 3-3 3位 3-1
- 【区間賞】 1区女 若本乃愛 1-5 2区男 小林拓冬 3-3  
3区女 大賀芽依 2-2 4区男 黒木晴斗 3-3  
5区女 佐藤采夢 1-5 6区男 成合侑生 3-2



生徒が真剣に走る姿を見ていると、体育や部活動で体力や気力は間違いなく身に付いてきていると確信できました。

それ以上に、開放感ある屋外で、学級で団結して仲間を応援することを通して、学級の団結が強くなり、コロナ禍のストレスも少しは発散できたのではないかと思います。



### ◆「マラソンの部」の結果

- 【1年】<学級対抗> 1位 1-1 2位 1-2 3位 1-3  
<個人> (男) 1位 疋田一馬 2位 土田篤志 3位 江藤颯太  
(女) 1位 片田あかり 2位 山崎吏桃 3位 後藤百玖
- 【2年】<学級対抗> 1位 2-1 2位 2-2 3位 2-3  
<個人> (男) 1位 三雲陽翔 2位 海野裕翔 3位 林田大悟  
(女) 1位 黒木来夢 2位 前田明音 3位 西原美羽
- 【3年】<学級対抗> 1位 3-4 2位 3-1 3位 3-3  
<個人> (男) 1位 黒木蒼河 2位 池田航亜 3位 栗間康介  
(女) 1位 青山海兔 2位 黒木菜々子 3位 三樹うらら



### ◆◆富島中ホームページ◆◆

<http://cms.miyazaki-c.ed.jp/4601/htdocs/>から、学校だより等、学校の情報をご覧いただけます。

富島中

検索

## 凡事徹底 ほんじ

当たり前のことが当たり前  
にできるように、学校一丸と  
なって取り組んでいます。

今回の年末年始は、2年ぶりに東京や福岡の娘たちも帰省し、家族が大集合。加えて娘たちの彼氏も合流し大人数で賑わいました。私は飲み過ぎて撃沈していましたが、娘たちは大富豪やWiiで盛り上がったみたいです。(向江)

